

## 新型コロナウイルス感染症に係る消防団活動のガイドライン

このガイドラインは、8月25日現在の状況に基づき策定したものです。今後の状況の変化等を踏まえて、随時見直しを行います。

### 1 団員の活動への参加について

以下に該当する団員については、全ての消防団活動への参加を認めない。

- 1 重症化しやすい基礎疾患がある団員
- 2 風邪症状や味覚・嗅覚に異変を感じる団員

### 2 行事・訓練の実施について

団の行事・訓練等の開催の必要性及び規模縮小については、本部役員会で都度検討する。

分団（班）にあっては、分団長（班長）の決めた決議機関で検討する。

検討の際は、以下の点を考慮する。

- 1 村が示す「イベント・行事等開催の目安」に沿っているか
- 2 必要不可欠であるか
- 3 従前同様の規模である必要性
- 4 規模縮小による行事自体の有意性

### 3 行事等開催時の感染拡大防止への配慮について

行事等を実施する際は、「3密」を回避した上で、以下の点に留意し万全の感染防止策を講じて開催する。

- 1 規模縮小
- 2 時間短縮

## 行事・訓練の実施判断マトリクス

活動区分		圏域の感染警戒レベル (注1)	判断原則	実施時の感染防止策		
				密閉空間	密集場所	密接場面
災害時の活動 (火災・自然災害)		—	1に該当する団員以外は出動	—	—	マスクの着用 手洗い
会議（班会）		レベル1	収容定員の半分程度以内の人数で実施	換気	席の間隔の確保	マスクの着用 手洗い
		レベル2以上	自粛	換気	席の間隔の確保	マスクの着用 手洗い
行事 訓練	屋内	レベル1	収容定員の半分程度以内の人数で実施	換気	団員間の距離の確保	マスクの着用 手洗い
		レベル2以上	中止または延期	—	—	—
	屋外	レベル1	実施	—	団員間の距離の確保	マスクの着用 手洗い
		レベル2以上	中止または延期	—	—	—
防火広報 機関点検		レベル1	実施	詰所の換気 積載車の換気	団員間の距離の確保	マスクの着用 手洗い
		レベル2以上	最小人員で実施	詰所の換気 積載車の換気	最小人員	マスクの着用 手洗い

(注1) 圏域の感染警戒レベル：長野県が独自に定める広域圏単位での発生段階の区分

### レベル1（域内発生早期）

感染者数に関わらず、感染経路が特定（推定）できている状態

（県外での感染の可能性が高い事例、又は県内において感染し感染経路が特定できている事例のみの場合）

### レベル2（域内感染発生期）

- ① 感染経路が不明の事例が発生
- ② 濃厚接触者が特定できない事例が発生
- ③ 単発的なクラスターの発生

※ただし、①、②及び③に該当する事例の発生が確定した場合であっても、更なる感染拡大のおそれがないと判断される場合は、レベルの引上げを行わない。

### レベル3（域内まん延期）

- ① レベル2の①又は②に該当する事例が多数発生  
（概ね3件以上。ただし、①と②の要件を同時に満たす等リスクが極めて高い事例の場合は、2件とする）
- ② クラスタが複数発生